

令和7年度
すくわくプログラム活動報告書

(実施対象：3歳児クラス)

モニカ本駒込園

M  nica

テーマ

緑

対象クラス

3歳児クラス・11名

設定理由

空の色や花や植物の色など色の変化に気が付いて話す様子が見られたため。

活動のねらい

創造的な活動を通して、色との共感的な関係性を育む。

問い

「これはどんな緑？どんな世界？」

活動期間

令和7年4月～年9月

活動回数

計5回

活動①

様々な緑で表現し、その違いに気付く

設定理由

色を見つけていく中で、緑色が多いことに気付いていたため。
同じ色でも違った色味があることに気付いていたため。

問い

「何が変わったかな」

準備物

コピー用紙(11) | 緑の色鉛筆 | クレヨン | 水性ペン(5)

活動内容

- ①コピー用紙に緑の水性ペン、クレヨン、色鉛筆で自由に表現する。保育者はこの時、「どんな色かな？どこが違うかな？」と問いかける。
- ②子どもの目にとまるよう、室内に掲示する場所を設ける。



これは一緒にこれは違う



みんなで集めた色を分けていきます。
始めは写真を見て、色を伝えることに
夢中になっていましたが、、

これ同じ！青だよ！

1人が同じ色のものを集め、
重ね始めました。



これはピンクだよ



こっちはみどり！



これは違うから
そっちだね！

色を見て友だちや保育者に伝えていく中で、その違いに気付き分けようとする子どもたち。自分が集めている色と友だちの集めている色を見極めて一緒に色分けをしていました。

活動②

戸外で様々な緑で表現し、その美しさを知る

設定理由

色を見つけていく中で、緑色が多いことに気付いていたため。
同じ色でも違った色味があることに気付いていたため。

問 い

「これはどんな色？外で見るとどう見える？」

準備物

コピー用紙(11) | 緑の色鉛筆 | クレヨン | 水性ペン(5) | バインダー(11)

活動内容

- ①コピー用紙に緑の水性ペン、クレヨン、色鉛筆で自由に表現する。保育者はこの時、「どんな色かな？どこが違うかな？」と問いかける。
- ②子どもの目にとまるよう、室内に掲示する場所を設ける。

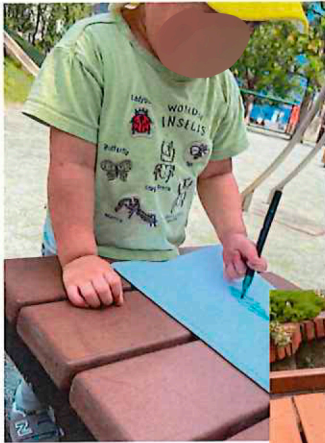


外で描くみどりってどう見える？

戸外でみどりを描き、思い思いに表現しました



色鉛筆、クレヨン、水性ペンから好きなみどりを選びます



しろいみどり



色んなみどりつけたよ

きみどり！



葉っぱと同じみどりかな？



みどりを表現していく中で、「どんなみどりかな？」と尋ねると、それぞれの言葉でどう捉えたか話していました。自然のみどりと比べたり、外だと鮮やかに見えたりなど、室内との違いについて気づいていたようです。

活動④

色の関係性を知り、その色の豊かさに気付く

設定理由

色水を混ぜていく中で、その色の違いに気付いたり、また違う色を作ろうとしたりする姿が見られたため。室内のライトとカラーセロハンを用いて、その場所の色を作り出し世界観を楽しむ姿が見られたため。

問 い

「どんな世界かな？」

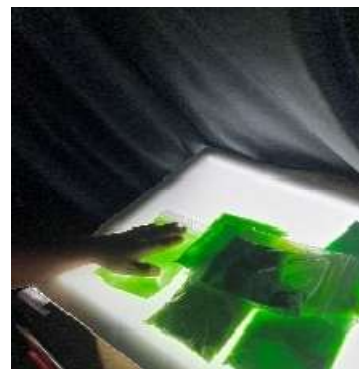
準備物

自分で作った色水が入ったジップロック | ライト | ライトテーブル
布(白・黒) | 四つ切の画用紙(白・黒)

活動内容

布を使い、空間を区切り、白の世界、黒の世界を作っておく。

- ①自分で作ったジップロックに入った色水を持ち、ライト、ライトテーブルに照らす。(3名4名4名ずつで行う)
- ②その空間がどのような世界になったのか、やりとりをする。保育者は「どんな世界かな？」と問いかける。



つくってみる



「どのいろをいれようかなあ」

「まずはみどりから！」



「あれ？」

「おともだちがつくったのとなんかちょっとちがうよ！」

緑、黄緑、黄、白の4色の色水を作り組み合わせによってどんな緑が出来上がるのか皆んなで実際に作ってみました。すると色々な色の組み合わせで多様な緑を誰一つと被らずに作りだしまるで実験をしているかのように楽しみながら作っていく姿がありました。

さて、次はどんな色が出来上がっていくのかな？



活動⑤

空間と色との共感的な関係性を育む

設定理由

前月に行った光を用いた緑の探究で、子どもから黄色の世界と青の世界で緑を見るという意見が出たため。

問 い

「どんなふうに見えるかな？」 「今どんな気持ち？」

準備物

色画用紙を貼った箱(青・黄 各1) | 作った色水 | ライト
水性ペン色鉛筆クレヨン(緑・黄緑・黄・赤・青・紫 各4)
画用紙(白・黒 各11)

活動内容

(4名4名3名ずつ交代で行う)

- ①自分の好きなジップロックに入った色水を選ぶ。
- ②青色黄色の箱の中でライトに照らし、その空間で遊ぶ。
- ③それぞれどのように見えたのか、どう思ったのか話し合う。
- ④自分の見えた緑の世界を画用紙に自由に表現する。
- ⑤緑がどんな気持ちなのか、どのように見えたか話し合う。



見えた世界はこんな感じ

青と黄色の世界で見た緑を表現しました



ピンクと赤に見えた



黄色と紫とピンクも見えた！

緑を重ねて見たんだよ



各色の世界で緑を見た時に、その世界の色が変わった様子を表現する子どもたち。その世界はそれぞれで全く違って、たくさんの色で溢れていました。光の当て方や色の世界でどんな色が生まれるのか色々試しながら、色んな世界に気づくことができました。

活動③

創造的な活動を通して、色との共感的な関係性を育む

設定理由

絵の具で緑を表現していく中で、色の違いや変化に気付き、何かに例えながら表現を進めていく姿が見られたため。

問い

「これはどんな世界？」

準備物

画用紙(自分が描いた分) | 模造紙(3) | のり(4)

活動内容

- ①自分の画用紙を用意する。
- ②模造紙に自由に画用紙を並べ、大きな世界を作る。
- ③どんな世界になったのか、グループで対話する。
- ④3グループの完成した世界を並べ、全員でどんな世界ができたのか対話する。



緑で作る世界

描いた緑を使って、自由に並べたり貼ったりして世界を作ります。



青チームと緑チーム、虹の葉っぱチームもあるよ



同じ色で面と面を貼り合わせる



同じ色でくっつけたら、
模様が繋がった！

同じような緑を見つけ、重ねる子もいれば
一列に並べ貼り付けていく子も。
どんな緑なのかじっくりと見て考えた上で
世界を作っていました。
その中でイメージも広がり、名前をつけたり
物語を作る子も。
緑で様々な世界を作ることができました。

準備物

色鉛筆(赤・青・黄・緑・ピンク 各11) | 水性ペン(緑・黄緑 各4) | クレヨン(赤・青・黄・緑・ピンク 各11) | カメラ
写真 (活動時に色をみつけた枚数分 | コピー用紙(22) | ポンプ容器(5) | 絵の具(緑・黄緑・白・黄・黒) | カップ (22)
ジップロック(100) | 雑巾(5) | 木製の洗濯ばさみ(100) | 自分で作った色水が入ったジップロック | ライト
ライトテーブル | 布(白・黒) | 四つ切の画用紙(白・黒) | 画用紙を貼った箱(青・黄 各1) | 画用紙(白・黒 各11)
筆(11) | スモッグ(6) | 10センチ角の画用紙 白(55) | パレット(11) | 模造紙(3) | のり(4) | 模造紙を貼った箱 (2)
絵本『カラーモンスターきもちはなにいろ?』 『なにいろがすき? いろいろずかん』

テーマ：色

全体の振り返り

色を探ることからはじめ緑に出会い、緑の違いに気付き、そこから探究していく中で光や場所によって見え方が違うこと、緑がどのようにしたらできるのか、緑から生まれるほかの色との関係性、緑同士の関係性、その活動の中での共感性を感じていた。

保育者としての反省は、はじめは問いかけを意識しすぎたのもあり、子どもが考えている間に話しかけたり、次へ次へと考えていましたが、少しずつ進めていくうちに、静かになる時間こそ子どものイメージが膨らんでいることに気付いた。特にこのクラスは普段は元気すぎるくらい元気なのですが、人見知りや雰囲気緊張する子がいて、アトリエスタとの探究の日はとっても静かで振り返りの時にも固まる子がほとんどだったが、言葉表現するためのツール（今回だと2回目の探究の画用紙、ペン、色鉛筆）を用意することで子どものイメージが可視化され、アトリエスタと職員との振り返りの際に、その時気付かなかったことが気付けるようになることもあった。年齢や子どもの姿に合わせた感じたことの伝え方の準備も入念に行うべきだと感じた。

終



株式会社モニカ

〒105-0004
東京都港区新橋1-9-5 KDX新橋駅前ビル 3F
TEL:03-6661-2466
FAX:03-6661-2467

モニカ本駒込園

〒113-0021
東京都文京区本駒込3-20-3
TEL:03-5834-8361
FAX:03-5834-8312